

(令和6年度実施)

令和7年度沖縄県立島尻特別支援学校 高等部入学者選抜実施要項等説明会 配布資料 1

(高等部入学者選抜実施要項等)

目 次

令和7年度沖縄県立島尻特別支援学校高等部入学者選抜実施要項	P1～11
入学志願書（第1号様式）	P12
調査書（第2号—2様式、第2号）	P13～P15
入学志願者名簿（第3号様式）	16～P17
県外からの入学志願のための許可願（第4号様式）	P18
確約及び証明書（第5号様式）	P19
志願変更願（第6号様式）	P20
健康診断書（第8号様式）	P21
第2次募集入学志願書（第9号様式）	P22
第2次募集志願者名簿（第10号様式）	P23～P24
専門医の診断書（第11号様式）	P25
第2次募集志願変更願（第12号様式）	P26
自己申告書（第13号様式）	P27
写真票（第15号様式）	P28
学力検査等に際しての配慮願い書（第16号様式）	P29
追検査受検希望届（追検第1号様式）	P30
学区外特別支援学校入学志願書【別記様式1（第4条第2項関係）】	P31
身体障害者手帳・療育手帳等の写し 見本	P32

令和7年度 沖縄県立島尻特別支援学校高等部入学者選抜実施要項

1 方 針

沖縄県立島尻特別支援学校高等部入学者の選抜は、高等学校(高等部)及び中学校(中学部)教育の正常な充実を期し、障害の種類や程度に応じて、公正かつ妥当な方法で、特別支援学校における教育が必要な者を選抜するために、次の方針に基づいて実施する。

- (1) 選抜は、本校校長が学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第135条第5項において準用する第90条第1項から第3項の規定により行う。
- (2) 選抜は、入学志願者(以下「志願者」という。)が募集定員を超過すると否とにかかわらず行う。
- (3) 通常教育課程履修予定者に対して実施する県立高等学校入学者選抜学力検査問題では、中学校等における国語、社会、数学、理科、及び英語の5教科について、一般入学志願者に対して行う。なお、英語については、聞き取り検査を実施する。
- (4) 知的教育課程履修予定者に対して実施する県立特別支援学校高等部入学者選抜学力検査問題では、中学校等における国語、数学、技術(職業)分野、体育の4教科等について、一般入学志願者に対して行う。
- (5) 学力検査は、生徒の実態に応じて、一斉に実施する学力検査問題以外の本校作成問題を一部の生徒に実施する。
- (6) 一斉に実施する学力検査問題(県立高等学校入学者選抜学力検査問題又は県立特別支援学校高等部入学者選抜学力検査問題)は県教育委員会が作成し、(5)により実施する学力検査問題等は本校が作成する。

2 一般入学

(1) 出願資格

学校教育法施行令(昭和28年 政令第340号)第22条の3の規定に該当する知的障害者若しくは肢体不自由者で、次の各号のいずれかに該当し、かつ11月末日までに志願前相談を受けた者とする。

ア 特別支援学校の中学部、中学校、義務教育学校の後期課程又は中等教育学校の前期課程(以下「中学校等」という。)を募集年度の3月に卒業又は修了(以下「卒業」という。)見込みの者

イ 中学校等を卒業した者(以下「過年度卒業者」という。)

ウ 学校教育法施行規則第95条各号のいずれかに該当する者

※ 出願にあたっての留意事項

志願者は出願するにあたり、教育課程の理解と適切な進路決定を促すため、本校が実施する志願前相談に参加するものとする。

(2) 募集定員

県教育委員会が別に定める。

(3) 募集区域

対象	区域
ア 知的障害	西原町、南城市(南城市立久高中学校区域を除く。)、与那原町、南風原町、八重瀬町、豊見城市(豊見城市立長嶺小学校区域に限る。)
イ 肢体不自由	南城市(南城市立久高中学校区域を除く。)、与那原町、南風原町、八重瀬町、豊見城市(豊見城市立とよみ小学校区域を除く。)、糸満市

ウ 全県学区	※沖縄県立特別支援学校の通学区域に関する規則 第2条第1項ただし書き「別表第2に掲げる区域については、県全域とする。」 別表第2 伊平屋村、伊是名村、伊江村、本部町（本部町立水納中学校区域に限る。）、うるま市（うるま市立津堅中学校区域に限る。）、南城市（南城市立久高中学校区域に限る。）、久米島町、南大東村、北大東村、座間味村、渡嘉敷村、粟国村、渡名喜村、多良間村、竹富町、与那国町
--------	--

(4) 出願期間

出 願 期 間	受 付 時 間	受 付 場 所
令和7年2月3日（月）	午前9時～午後4時まで	本校 小会議室
2月4日（火）	午前9時～午後4時まで	

※ 郵送の場合もこの期限までに必着のこと。ただし、本校校長が特別の事情があると認めた場合はその限りではない。

※ 志願希望者は、11月末日までに本校において志願前相談を受けるものとする。（志願変更及び第2次募集を予定している場合についても同じ。）

(5) 出願手続（提出書類）

ア 志願者は、沖縄県立特別支援学校の通学区域に関する規則により定められた通学区域の1校に出願することができる。（ただし、志願前相談を受けた学校に限る）

※中頭学区のうち、美咲特別支援学校及びはなさき支援学校の区域については、当分の間、通学区域の規則に関わらず本校に出願できるものとする。ただし、出願できる人数については、別途調整することがある。

イ 志願者は、次の書類を出身中学校長又は出身特別支援学校長を通して、本校校長へ出願期間内に一括して提出しなければならない。

(ア) 入学志願書(第1号様式)	全員提出	
(イ) 調査書（通常の教育課程履修者用（第2号様式）または知的の教育課程履修者用（第2号—2様式））	全員提出	※1 原則として、第2号様式を使用し、特に必要な場合に限って第2号—2様式を使用する。 ※2 特別支援学級に在籍している生徒で、中学校の教育課程を実施し評定している場合は、第2号様式を作成する。 ※3 県内特別支援学校中学部在学者のうち、同一校内の内部進学者については、個別の教育支援計画、個別の指導計画を調査書に替える。
(ウ) 入学志願者名簿（第3号様式）	各校1部	
(エ) 住民票謄本（マイナンバーの掲載なし）		ただし、次のa及びbの者のみとする。また、出願の日前3か月以内に発行されたものとする。 a 沖縄本島、古宇利島、瀬底島、平安座島、宮城島、伊計島及び浜比嘉島に在住する者で、通学区域が県全域ではない学科に出願するもの b 志願者が県外の中学校等出身者で、保護者が県内に在住し、通学区域が県全域ではない学科に出願するもの

(オ) 健康診断書（第8号様式）		ただし、過年度卒業者のみとし、令和7年1月以降に発行されたものとする。
(カ) 身体障害者手帳若しくは療育手帳の写（両方を所持している場合は両方の写）	全員提出	※1 出願時に更新期限が超過した身体障害者手帳及び療育手帳は無効とする。 ※2 手帳未取得の場合は、各専門医の診断書（第11号様式） ※3 各専門医の診断書は、障害の程度が証明可能なものとする。
(キ) 確約及び証明書（第5号様式）		ただし、次のa又はbの者に限る。 a 募集区域のウ（全県学区）から出願する者 b 本校学区外の沖縄本島、宮古島または石垣島の各地域から当該各島に所在する特別支援学校以外の特別支援学校に出願する者
(ク) 写真票（第15号様式）	全員提出	
(ケ) 学区外特別支援学校入学志願書【別記様式(第4条関係)】		募集区域のア、イ、ウ以外の志願者のみ提出

ウ 学校教育法施行規則第95条各号のいずれかに該当する志願者は、入学志願書(第1号様式)及び本校校長が必要と認める書類を本校校長に提出しなければならない。

エ 志願者が県外の中学校等に在学している場合は、次の手続による。

- (ア) 「県外からの入学志願のための許可願」（第4号様式）を令和7年1月20日までに教育長に提出し、許可を受けなければならない。
- (イ) 前記(ア)の「許可願」（第4号様式）、と上記2の(5)のイの出願書類をあわせて本校学校長へ提出しなければならない。

(6) 志願変更及び手続

ア 志願変更

- (ア) 入学志願締切りの結果、志願者が定員を超えた学校に出願した者のうちで、出身中学校長等及び志願先特別支援学校長が適当と認めた者は、志願変更を行うことができる。
- (イ) 志願変更の可能な人員は、志願者数が入学定員を下回らない範囲とする。
- (ウ) 本校へ志願変更する者は、返却された入学志願書(第1号様式)に変更すべき事項(※印の欄)を記入し、「2 一般入学」の「(5)出願手続」に準じて入学志願書類を所定の期間内に本校校長に提出すること。

イ 志願変更の日程

再出願期間	受付時間	受付場所
令和7年2月17日（月）	午前9時～午後4時まで	本校 小会議室
2月18日（火）	午前9時～午後4時まで	

(7) 選抜の方法

- ア 本校校長を委員長とする選抜委員会を置く。
- イ 選抜委員会は、所定の出願書類、学力検査等の成績及び面接の結果を基にして選抜を行う。
- ウ 面接は、志願者全員について本校校長の定めるところにより実施する。

(8) 学力検査等

ア 期 日 令和7年3月4日(火)、3月5日(水)

イ 検査場 沖縄県立島尻特別支援学校

※通学区域が広域にわたる志願者又は特別に指定する地域からの志願者は、県教育委員会が設置する委託検査場又は出張検査場で受検することができる。ただし、受検の許可について別途調整することがある。なお、委託検査場又は出張検査場で受検を希望する場合は、志願前相談までに必ず相談すること。

ウ 日程及び時間割等

① I 課程：肢体不自由

※県立高等学校入学者選抜学力検査問題で実施する

	【第1日目】3月4日(火)	【第2日目】3月5日(水)
9:15～9:35	受付、日程説明、諸連絡	受付、日程説明、諸連絡
第1時限 10:00～10:50	国語	社会
第2時限 11:15～12:05	理科	数学
12:10～13:05	昼食(55分)	(2時限目終了後～) 面接
第3時限 13:15～14:05	英語	

(ア) 受検者は、検査時間中、次のものを携行すること。

- ・HB以上の濃さの黒鉛筆(シャープペンシルを含む。鉛筆は、和歌・格言等が印刷されているものは不可。)
- ・定規
- ・コンパス(三角定規は可、分度器及び分度器機能付き定規・コンパス、三角スケールは不可)

(イ) 受検者は、検査期間中、携行品以外に次のものを机の上に置くことができる。

- ・鉛筆キャップ
- ・鉛筆削り(電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。)
- ・時計(ただし、辞書、電卓、端末等の機能があるもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。通信機能を持つウェアブル端末等も不可。)
- ・眼鏡、ハンカチ(無地のタオルを含む)、目薬、ティッシュペーパー(袋又は箱から中身だけを取り出したもの)

※両日とも服装は制服又は式服とし、上履きを持参する。

※検査中、保護者(引率者)は希望する場合、控え場所で待機。昼食は保護者とともに行う。面接は、受検者の状況を見ながら保護者同伴で行う場合もある。

※外部中学校からの受検者で入舎希望の場合は、1日目終了後寄宿舍面接がある。

②Ⅱ課程—A：知的障害

※県立特別支援学校高等部入学者選抜学力問題で実施する。

	【第1日目】3月4日（火）	【第2日目】3月5日（水）
9:15～9:35	受付、日程説明、諸連絡 ※服装は制服とする。	受付、日程説明、諸連絡 ※服装は中学校指定ジャージとする。
第1時限 10:00～10:50	国語	技術（職業）
第2時限 11:15～12:05	数学	体育
第3時限 12:15～12:50	面接※保護者同伴	

(ア) 受検者は、検査時間中、次のものを携行すること。

- ・HB以上の濃さの黒鉛筆（シャープペンシルを含む。鉛筆は、和歌・格言等が印刷されているものは不可。）
- ・定規
- ・コンパス（三角定規は可、分度器及び分度器機能付き定規・コンパス、三角スケールは不可）
- ・はさみ（紙切り用）、スティックのり

(イ) 受検者は、検査期間中、携行品以外に次のものを机の上に置くことができる。

- ・鉛筆キャップ
- ・鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- ・時計（ただし、辞書、電卓、端末等の機能があるもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。通信機能を持つウェアブル端末等も不可。）
- ・眼鏡、ハンカチ（無地のタオルを含む）、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）

※両日とも上履きを持参する。

※1日目の服装は制服又は式服、2日目の服装は、中学校指定のジャージ及び体育着とし、体育館シューズ（体育において志願者本人が用いるためのもの）を持参する。

※検査中（面接以外）、保護者（引率者）は希望する場合、控え場所で待機。

※外部中学校からの受検者で入舎希望の場合は、1日目終了後寄宿舍面接がある。

③Ⅱ課程—B：知的障害

※本校で作成した検査問題で実施する。

	【第1日目】3月4日（火）	【第2日目】3月5日（水）
9:15～9:35	受付、日程説明、諸連絡 ※服装は制服とする。	受付、日程説明、諸連絡 ※服装は中学校指定ジャージとする。
第1時限 10:00～10:50	総合検査1	行動観察
第2時限 11:15～12:05	総合検査2	面接※保護者同伴

※両日とも上履きを持参する。

※1日目の服装は制服又は式服、2日目の服装は、中学校指定のジャージ及

び体育着とし、体育館シューズ（体育において志願者本人が用いるためのもの）を持参する。

※検査中（面接以外）、保護者（引率者）は希望する場合、控え場所で待機する。

※外部中学校からの受検者で入舎希望の場合は、1日目終了後寄宿舍面接がある。

名札（例）

①～③の時間割で受検する際の留意事項

- (ア) 名札(目安5 cm×8 cm程度)を左胸につける。
- (イ) 保護者は、2日間必ず本校へ同伴し、指定の時間は控え場所で待機する。
- (ウ) 保護者は学力検査の待ち時間を利用し、必要に応じて養護教諭との面談を行う。
- (エ) 医療的行為がある場合は保護者が行い、それに必要な器具、機材は保護者が確保する。
- (オ) 令和7年3月3日(月)16:30～17:00は、検査場の見学ができる。

出身校 受検番号 氏 名

④訪問教育（※R7年は対象者なし）

※本校で作成した検査問題で実施する。

	3月4日（火）または3月5日（水）
場所：受検者自宅 30分程度	総合検査・面接（保護者同伴）

※ 検査の日程及び方法については受検者の健康状態を考慮する。

※ 検査の実施中は保護者同伴とし、医療的行為は保護者が行い、それに必要な器具、機材は保護者が確保する。

エ 検査時間及び配点

- ① 県立高等学校入学者選抜学力検査を実施する教科の検査時間は、いずれも50分とし、配点は各60点とする。
- ② 県立特別支援学校高等部入学者選抜学力検査を実施する教科の検査時間は、いずれも50分とし、配点は各100点とする。
- ③ 本校作成問題の検査時間は生徒の実態に応じて柔軟に対応し、検査結果は記述等で行う。

(9) 合格発表及び通知

- ア 令和7年3月18日（木）の午前9時に本校において発表（掲示）する。発表（掲示）後、ホームページにも掲載する。
- イ 合格者に対し、その者が入学志願書を提出した中学校長等を通じて合格したことを通知する。
- ウ 合格発表に際し、受検者本人の学力検査得点について、本校において（第2次募集の合格発表の日から換算して1月以内）個人情報保護に関する法律第69条第1項による利用目的内の情報提供として提供（開示）が可能である。

3 第2次募集

合格者が募集定員に満たない場合は、第2次募集を行う。

(1) 出願資格

出願できる者は、前記2（1）に該当する者で県立高等学校における学力検査を受検し、合格しなかった者、または県立高等支援学校等における学力検査等を受検し合格しなかった者とする。

(2) 出願期間

出 願 期 間	受 付 時 間	受 付 場 所
令和7年3月19日（水）	午前9時～午後4時まで	本校1階 小会議室
3月21日（金）	午前9時～午後4時まで	

※ 郵送の場合もこの期限までに必着のこと。ただし、本校校長が特別の事情があると認めた場合は、その限りではない。

※ 第2次募集出願時までに特別支援学校の対象であることの証明ができるもの（身体障害者手帳若しくは療育手帳の写【両方を所持している場合は両方の写】）が準備されていることとする。

(3) 出願手続（提出書類）

ア 一般入学の学力検査を受検した者は次の手続きによる。

(ア) 県立高等学校における学力検査を受検した者は次の手続きによる。

志願者は当該年度に第2次募集を実施する高等学校に出願することができる。更に、本校に併願することができる。（ただし出願は、志願前相談を受けた者に限る。）

(イ) 県立高等支援学校等における学力検査を受検した者は次の手続きによる。

志願者は、当該年度に第2次募集を実施する高等支援学校等に出願することができる。更に、本校に併願することができる。（ただし出願は、志願前相談を受けた者に限る。）

(ロ) 出身中学校長等は、志願者に係る次の書類を本校校長に出願期間内に一括して提出するものとする。

a 第2次募集入学志願書（第9号様式）

b 調査書（一般入学で提出したものと内容は同じもの）

c 第2次募集志願者名簿（第10号様式）※各校1部

d 確約及び証明書（第5号様式）（前記2の(5)のイの(キ)a又はbの者に限る）

e 住民票謄本（マイナンバーの掲載なし、出願の日前3か月以内に発行されたものとする）（前記2の(5)のイの(エ)a又はbの者に限る）

f 身体障害者手帳若しくは療育手帳の写（両方を所持している場合は両方の写）

※1 更新期限が超過した身体障害者手帳及び療育手帳等は無効とする。

※2 手帳未取得の場合は、各専門医の診断書（第11号様式）

※3 各専門医の診断書は、障害の程度が証明可能なものとする。

g 写真票（第15号様式）※併願の場合でも、本校へも提出する。

(エ) 本校校長は、志願者が学力検査を受検した学校長に次の書類の提供を求める。

a 学力検査成績証明書（第14号様式）

b 健康診断書（一般入学で提出のあった者に限る。）

c 写真票（第15号様式）※一般入試で高等学校を受検した場合は、そのまま使用してよい。

(オ) (エ)の出願書類等の提出を求められた学校長は、当該志願者にかかる前記(エ)の書類を本校校長へ送付する。

(カ) 併願の場合は、2次募集志願先校に提出された学力検査成績証明（第14号様式）の写を2次募集志願先校に求める。

(キ) (カ)の出願書類等の提出を求められた学校長は、当該志願者にかかる前記(カ)の書類を本校校長へ送付する。

(4) 志願変更及び手続

ア 志願者は、入学志願締切りの後、志願した高等学校、高等支援学校等を志願変更することができる。

イ 本校へ2次志願変更をする者は、返却された第2次募集入学志願書（第9号様式）に変更すべき

事項(※印の欄)を記入し、「3 第2次募集」の「(3)出願手続」に準じて入学志願書類を所定の期間内に本校校長に提出すること。

ウ 2次志願変更の日程

再出願期間	受 付 時 間	受 付 場 所
令和7年3月24日(月)	午前9時～午後4時まで	本校 小会議室

(5) 選抜の方法

選抜は、学力検査成績証明書(第14号様式)、調査書(第2号様式)、面接等の結果を資料として行う。

(6) 面接期日及び検査場

ア 期日 令和7年3月26日(木)午後2時00分～

イ 検査場 本校高等部教室

(7) 合格発表及び通知

ア 令和7年3月28日(金)の午前9時に本校において発表(掲示)する。同時に、ホームページにも掲載する。

イ 本校校長は、合格者に対し、その者が入学志願書を提出した中学校長等を通じて合格したことを通知する。

4 追検査

インフルエンザなど学校保健安全法で出席停止の扱いが定められている感染症、急な入院等、やむを得ない事由により、学力検査の全部又は一部を受けることができなかった者は、追検査を受検することができる。

追検査の期日は、令和7年3月10日(月)とし、一日で学力検査の全日程を実施し、追検査の合格発表は、一般入試と同日の令和7年3月18日(火)に行う。

申し出期間及び手続きは、令和7年3月4日(火)午前9時から午後4時、令和7年3月5日(水)午前9時から正午までの時間に、「追検査受検希望届」(追検査第1号様式(特支高))に本検査を受検できなかったことを証明する書類を添えて、本校へ提出すること。

5 調査書

(1) 中学校等に、校長を委員長とする調査書委員会を置く。

(2) 本校校長は、出身中学校長等の提出した調査書(第2号様式)に疑義があるときは、必要に応じて資料の提出を求める。なお、虚偽の報告によって入学を許可された者については、入学を取り消すことができる。

(3) 調査書の作成方法

① 第2号様式

ア 「受検番号」の欄は中学校等においては記入しない。

イ ※印の欄は志願変更する場合のみ記入する。

ウ 記入事項のない欄には斜線を引く。

エ 「① 各教科の学習の記録」の欄は次のように記入する。

(ア) 「観点別学習状況」の欄は1年～3年の各学年について十分満足できると判断されるものを○で記入し、○に該当しないところは空欄にする。

なお、2・3年「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」については、※1～3に対応する欄へ記載すること。

※1：知識・技能 ※2：思考・判断・表現 ※3：主体的に取り組む態度

- (イ) 「評定」の欄は、絶対評価による５段階の目標に準拠した評価で記入する。
- (ウ) 「総合的な学習の時間の記録」の欄は指導要録に基づいて記入する。
- オ 「② 特別活動の記録」の欄は指導要録に基づいて記入する。
- カ 「③ 行動の記録」の欄は指導要録に基づいて記入する。
- キ 「④ 総合所見」の欄は指導要録に基づいて記入する。なお、特技、資格（例 英語検定、珠算、書道、柔剣道等の級、段位を具体的に記入する。）についても、この欄に記入する。
- ク 「⑤ 出欠の記録」の欄は次のように記入する。
 - (ア) １年及び２年は指導要録に記入されたものを転記する。
 - (イ) ３年は令和７年１月２４日現在で記入する。
 - (ウ) 出席日数の欄は、不登校の生徒が学校外の施設において相談・指導を受け、そのことが当該生徒の学校復帰のために適切であると校長が認めた場合には、その日数を出席扱いとして出席日数に加えるとともに、（ ）内に内数として記入する。
 - (エ) 備考欄は、欠席の正当な理由のあるものについてその数値を記入し、その数が１０日以上の場合は、理由もあわせて特記する。（ただし、病欠については回数のみ）また、前記(ウ)で相談・指導を受けた適応指導教室等の施設名を記入する。
- ケ 「⑥ 健康所見」の欄は健康診断票の該当欄の最も新しい記載事項を転記する。過年度卒業者については記入を要しない。ただし、令和７年１月以降に行った健康診断書（第８号様式）を添付する。（病院、診療所又は保健所が発行したもの。）
- コ 令和５年度以前に卒業した者の調査書については、指定された様式で作成すること。

② 第２号—２様式

- ア 「受検番号」の欄は中学校等においては記入しない。
- イ ※印の欄は志願変更する場合のみ記入する。
- ウ 記入事項のない欄には斜線を引く。
- エ 「各教科の学習の記録」の欄は次のように記入する。
 - (ア) 「学習状況」の欄はＡＢＣＤの評価を記入する。
 - (イ) Ａの評価は、完全に自身でできる場合。
 - (ウ) Ｂの評価は、部分的な支援があればできる場合。
 - (エ) Ｃの評価は、学習の理解が困難である場合。
 - (オ) Ｄの評価は、学習に臨む準備ができていない、興味関心が向かない場合。
- オ 「発達の記録」の欄は、最新の情報で記載すること。
- カ 「出欠の記録」の欄は指導要録に基づいて次のように記入する。
 - (ア) １年及び２年は指導要録に記入されたものを転記する。
 - (イ) ３年は令和７年１月２４日現在で記入する。
 - (ウ) 出席日数の欄は、不登校の生徒が学校外の施設において相談・指導を受け、そのことが当該生徒の学校復帰のために適切であると校長が認めた場合には、その日数を出席扱いとして出席日数に加えるとともに（ ）内に内数として記入する。
- キ 「健康と体力」の欄は健康診断票の該当欄の最も新しい記載事項を転記する。過年度卒業者については記入を要しない。ただし、令和７年１月以降に行った健康診断書（第８号様式）を添付する。（病院、診療所又は保健所が発行したもの。）

6 帰国子女等の入学選抜に係る取り扱い

- (1) 帰国子女等については、入学定員の枠、通学区域等について弾力的に取り扱い、選抜の方法、学力検査等についても可能な限り配慮するものとする。
- (2) 志願者のうち、帰国子女等について、本校受検への配慮を必要とするものは、「学力検査等に際しての配慮願い書」（参考様式2）を中学校長等を経て本校校長に提出することができる。
- (3) 志願者から配慮願い書が提出された場合は、提出された書類等を基に審査の上、配慮することができる。

7 不登校生徒等入学者選抜に係る取り扱い

- (1) 志願者のうち、欠席又は出席扱いが多い等の理由を説明する必要があると認められるものは、自己申告書（第13号様式）を中学校長等を経て本校校長に提出することができる。自己申告書（第13号様式）の記入は、志願者及び保護者の直筆とする。提出にあたっては、厳封してもよい。その際、封筒の表に、中学校等名、本人氏名を記入すること。
- (2) 志願者から自己申告書が提出された場合は、これを選抜資料に加えることができる。

8 学力検査等に際して配慮が必要な生徒の入学者選抜に係る取り扱い

- (1) 本校受検の配慮については、「学力検査等に際しての配慮願い書」（第16号様式）に必要事項を記入し、障害・疾病等にかかる診断書等を添えて中学校長等を経て本校校長に提出することができる。
- (2) 内部進学者については、出願時に中学校長等を経て本校校長へ提出する。外部進学者（外部特別支援学校も含む）については、10月末までに中学校長等を経て県立学校教育課へ提出し、出願時に改めて本校へ提出する。
- (3) 志願者から配慮願い書が提出された場合は、提出された書類を基に審査の上、配慮することができる。

9 入学手続

合格者は、沖縄県立特別支援学校管理規則（平成12年沖縄県教育委員会規則第8号）第18条の規定に基づき、令和7年3月28日（金）までに入学手続きを完了すること。

10 合格者オリエンテーション

期日：令和7年3月28日（金）9：30～

場所：本校体育館

11 お問い合わせ先（入学者選抜実施要項について）

沖縄県立島尻特別支援学校

〒901-0411 沖縄県島尻郡八重瀬町友寄160番地

TEL 098-998-8240 FAX 098-998-7655

ホームページ <http://www.simajiri-sh.open.ed.jp/>

高等部入試担当：宮城千夏 平良真弓



【参考資料】

学校教育法第72条

特別支援学校は、視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は 病弱者（身体虚弱者を含む。以下同じ。）に対して、幼稚園、小学校、中学校又は高等学校に準ずる教育を施すとともに、障害による学習上又は生活上の困難 を克服し自立を図るために必要な知識技能を授けることを目的とする。

学校教育法第75条

第72条に規定する視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は 病弱者の障害の程度は、政令で定める。

学校教育法施行令第22条の3

法第 75 条の政令で定める視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者又は病弱者の障害の程度は、次の表に掲げるとおりとする。

区分	障害の程度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね〇. 三未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね六〇デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	一 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 二 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないもののうち、社会生活への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

第1号様式（特支高）

にゅうがく し がんしょ
入学志願書

				受検 番号		※	
志 望 校	第一志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	コース・分教室	第二志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	コース・分教室	
	※第一志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	コース・分教室	※第二志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	コース・分教室	
志 願 者	ふり 氏 名						
	せいねんがっぴ 生年月日	へいせい 平成	ねん 年	がつ 月	にち 日	うまれ 生	さい 歳
	げん じゅう しょ 現住所	〒					
	出身学校	ねん がつ そつぎょう そつぎょうみ こ 年 月 卒業・卒業見込み					
保 護 者	ふり 氏 名			しがんしゃ ぞくがら 志願者との続柄（ ）			
	げん じゅう しょ 現住所	〒					
	でん 電 話	(じたく 自宅)		(けいたい 携帯)			
受 検 場	ほんこう 本校		いたく しゅつちよう 委託・出張				
	みぎらん (右欄に○)	※	けんさじよう 検査場	※			
わたし きこうこうとうふだいいちがくねん にゅうがく 私は貴校高等部第一学年に入学したいので、保護者と連名の上、出願いたします。 れいわ ねん がつ にち 令和 年 月 日 おきなわけんりつ がつこうちよう どの しがんしゃ 沖縄県立 学校長 殿 志願者 ※沖縄県立 学校長 殿 保護者							

記入上の注意

- 1 受検番号の欄は、記入しない。
- 2 志願者が成年者の時は、保護者欄を保証人と読み替えて記入する。
- 3 年齢は令和7年3月31日現在で記入する。
- 4 保護者の現住所が志願者のものと同じ場合には、「志願者と同じ」と略記する。
- 5 受検場については、本校で学力検査等を受ける者は本校に○印を、その他で受検する者は該当欄に検査場名を記入すること。
- 6 ※印欄は、志願変更する場合のみ記入する。

調 査 書

ふりがな		男 ・ 女	受検番号	※	志望学科	第一	第二		
氏 名						※ 第一	※ 第二		
生年月日	平成 年 月 日生								
学校名	中学校								
	平成・令和 年 3月 （卒業・卒業見込み）								
発達の記録	1. 記録なし 2. 記録あり 【 WISC・田中ビネー・その他（ ） 】								
	（検査年月日 平成・令和 年 月 日 検査機関： ）								
	（検査結果： ）								
各教科の学習の記録（A：完全に自身でできる B：部分的な支援があればできる C：学習の理解が困難である D：学習に臨む準備ができていない、興味関心が向かない）									
教科	学習状況		評価		教科	学習状況		評価	
国語	①	ひらがな・カタカナを読むことができる	A B C D		美術	①	人、物やキャラクターを認知し区別できる	A B C D	
	②	ひらがな・カタカナを書くことができる	A B C D			②	具体的な場面などをイメージし、表現ができる	A B C D	
	③	小1程度の漢字を読むことができる	A B C D			③	自分の身体を使って、自ら制作できる	A B C D	
	④	小1程度の漢字を書くことができる	A B C D			④	筆やはさみ等（補助具使用を含む）を扱える	A B C D	
	⑤	意見や感想を表現（話す・書く）することができる	A B C D			⑤	制作活動全般に関して意欲的に取り組む	A B C D	
	⑥	簡単な文章の内容を理解することができる	A B C D						
社会	①	自分の住所がわかる	A B C D		保健体育	①	体調を整え授業に参加する	A B C D	
	②	方角（東西南北）と地図上での日本の位置がわかる	A B C D			②	一緒に身体を動かすことができる	A B C D	
	③	公共施設の利用マナーを理解している	A B C D			③	号令（集合・整列）に従って行動ができる	A B C D	
	④	三権（立法、行政、司法）の基本的なことがわかる	A B C D			④	道具を使って泳ぐことができる	A B C D	
						⑤	簡単な球技（サッカー・バスケット等）を楽しむことができる	A B C D	
数学	①	図形（○△□）の分類ができる	A B C D		職業・家庭	①	あいさつや返事・報告ができる	A B C D	
	②	アナログとデジタル時計の読み、生活に利用できる	A B C D			②	仕事の好き嫌いをせずに根気よく作業に取り組む	A B C D	
	③	2桁のたし算とひき算ができる	A B C D			③	教師の指示を理解し仕事の決まりを守る	A B C D	
	④	長さや重さの単位の関係がわかる	A B C D			④	簡単な道具や工具を使用しての作業ができる	A B C D	
	⑤	お金を渡してお釣りをもらい、買い物ができる	A B C D			⑤	道具や工具、材料等の片づけ・整理整頓ができる	A B C D	
理科	①	動物や植物の名前がわかる	A B C D			⑥	簡単なものにアイロンをかけることができる	A B C D	
	②	動物や植物の体のつくりと働き的基本的なことがわかる	A B C D			⑦	はさみで布を切ることができる	A B C D	
	③	顕微鏡の使い方がわかる	A B C D			⑧	基礎縫い（玉結び、なみ縫い等）ができる	A B C D	
	④	薬品や器具の基本的な扱い方がわかる	A B C D			⑨	調理用具（包丁等）を安全に扱うことができる	A B C D	
	⑤	環境（地球温暖化など）についての基本的なことがわかる	A B C D			⑩	ガス器具の扱いができる	A B C D	
音楽	①	みんなと一緒に音楽活動を楽しむことができる	A B C D		外国語・英語	①	大文字、小文字のアルファベットが読める	A B C D	
	②	声を出して歌うことができる	A B C D			②	大文字、小文字のアルファベットが書ける	A B C D	
	③	手拍子や打楽器を使ってリズム打ちをすることができる	A B C D			③	英語で基本的なあいさつができる	A B C D	
	④	楽譜（リコーダー・キーボード等）を見ながら簡単な曲の演奏ができる	A B C D			④	名前、好きなもの（事）が英語で言える	A B C D	
	⑤	様々な音楽に興味・関心を持って鑑賞することができる	A B C D			⑤	1～10までの数字、曜日、天気は英語で言える	A B C D	
※授業のない教科については、斜線（／）を引いてください。									
本書の記載事項に誤りがないことを証明する。									
令和 年 月 日									
学校名 学校長名 印									
記載責任者 教諭									

調査書

出欠の記録	【学 年】	【主な欠席の理由】
	1年：欠席日数 日 (病欠 日、事故欠 日)	
	2年：欠席日数 日 (病欠 日、事故欠 日)	
	3年：欠席日数 日 (病欠 日、事故欠 日) ※3学年は1月24日現在	
	出席扱いで支援センター等に通ったことがあれば、その時期と施設名をご記入下さい。	
健康と体力	1. 健康である 2. 体調を崩しやすい 3. 機能障害がある【部位： 　　】	
	4. 学校生活管理指導表（ 有り ・ 無し ） 【指導区分：要管理：（ A B C D E ） ・ 管理不要】	
	疾病やアレルギー・運動制限、留意事項・禁忌事項、緊急時対応配慮事項等があれば記入して下さい。	
総合所見	1年	
	2年	
	3年	

ふりがな												男・女	
氏 名													
生年月日		平成 年 月 日生											
現住所													
学校名		中学校											
		令和 年 3 月 (卒業 ・ 卒業見込み)											

① 各 教 科 の 学 習 の 記 録

必修 教科	観点	観点別学習状況						評定		
		学年	1年	2年	3年	1年	2年	3年		
国 語	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
社 会	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
数 学	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
理 科	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
音 楽	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
美 術	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
保 健 体 育	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
技 術 ・ 家 庭	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
外 国 語	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									

総合的な学習の時間の記録

学年	学習活動	観 点	評 価
1 年			
2 年			
3 年			

②特別活動の記録

③ 行 動 の 記 録

内 容	学 級 活 動	生徒会活動	学校行事	項 目	基本的な生活習慣	健康・体力の向上	自主・自律	責任感	創意工夫	思いやり・協力	生命尊重・自然愛護	勤労・奉仕	公正・公平	公共心・公德心	
															学年
1年				1年											
2年				2年											
3年				3年											

④ 総合所見

1 年

2 年

3 年

⑤ 出欠の記録

項目	学年	1 年	2 年	3 年
	欠席日数			
	出席日数	()	()	()
備考				

⑥ 健康所見

1 特に所見なし

2 所見あり

ア 疾病名 ()

イ 健康に配慮を要する

本書の記載事項に誤りがないことを証明する

令和 年 月 日

中 学 校

校長

印

記載責任者 教諭

15

令和 年度
入 学 志 願 者 名 簿

沖縄県立 _____ 学校

_____ 科 コース・分教室

_____ 学校 校 長 印

通し 番号	受検番号	ふりがな 氏 名	第二志望 (第2希望コース)	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

- 1 志願学科別、コース・分教室別にそれぞれ1部作成する。
- 2 受検番号欄は、記入しない。
- 3 過年度卒業者については、備考欄に「過」と記入する。
- 4 学区外の志願者については、備考欄に「外」と記入する。
- 5 第二志望（第2志望コース）欄は、希望者のみ記入する。

（ 枚中の1）

第3号様式（特支高・乙）

沖縄県立_____学校

_____科 _____コース・分教室

通し 番号	受検番号	ふりがな 氏 名	第二志望 (第2希望コース)	備考

- 1 志願学科別、コース・分教室別にそれぞれ1部作成する。
- 2 受検番号欄は、記入しない。
- 3 過年度卒業者については、備考欄に「過」と記入する。
- 4 学区外の志願者については、備考欄に「外」と記入する。
- 5 第二志望（第2志望コース）欄は、希望者のみ記入する。
(枚中の)

第4号様式（特支高）

県外からの入学志願のための許可願

志願者 ふりがな 氏 名 _____

平 成 _____ 年 _____ 月 _____ 日生

上記の者は、下記の理由により貴県の特別支援学校高等部へ入学志願したいので、よろしくお取り計らいますようお願いいたします。

令 和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

保護者 ふりがな 氏 名 _____

沖縄県教育委員会教育長 殿

記

現 住 所					
沖縄県内の予定住所					
転 居 予 定 日	令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 予定				
志願者と保護者との続柄					
志願先特別支援学校名		障害種		学科	
志願の理由（詳細に記載し、その事情を証明する資料を添付すること。）					
上記の通り相違なく、また、志願者は貴県以外の公立特別支援学校高等部又は公立高等学校に入学志願していないことを証明する。 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 （ _____ ） 学校長 _____ 印 所在地（ _____ TEL： _____ ）					

上記の願いを許可する。 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 沖縄県教育委員会 教育長 _____ 印
--

（注1）虚偽の記載により入学した者については、当該学校長はその入学を取り消すことができる。

（注2）提出先：〒900-8571 那覇市泉崎1丁目2番2号 沖縄県教育庁県立学校教育課

確 約 及 び 証 明 書

沖縄県立

学校長 殿

下記の生徒について、確約及び証明します。

記

ふりがな 志願者		出身学校	学校
志願校	沖縄県立 学校		
志望学科	第一	科	コース・分教室
	第二	科	コース・分教室

上記の者の保証人として、すべての責任を果たすことを確約します。

ふ り が な
保 証 人 _____

現 住 所 _____

電 話 番 号 _____

生 年 月 日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 生

(_____ 歳)

保護者または本人との関係 _____

上記の者は、保証人として、そのすべての責任を果たしてもらうことを証明します。

ふ り が な
保 護 者 名 _____

現 住 所 _____

令和 年 月 日

志 願 変 更 願

志願先 沖縄県立_____学校長 殿

志望学科_____科 _____コース・分教室

受検番号_____

出身学校名_____

出身学校長_____印

志 願 者_____

保 護 者_____

私は、下記の学校へ志願変更をしたいので、入学志願書及び関係書類を返却していただきますようお願いします。

志願変更先学校	志望	学科
沖縄県立	第一	_____科 _____コース・分教室
	第二	_____科 _____コース・分教室
学校		_____科 _____コース・分教室

上記志願者の志願変更を許可します。

志願先 沖縄県立_____学校長 _____印

中学校受領者氏名_____

※ この志願変更願は志願先特別支援学校で保管し、その写しを変更先特別支援学校長へ提出する。

健康診断書

ふりがな 氏 名			出身学校	
生年月日	年	月	日	卒業年月 年 月 卒業
視 力	右	()		
	左	()		
聴 力	右	異常なし ・ 難聴		
	左	異常なし ・ 難聴		
胸部レントゲン		直接撮影 ・ 間接撮影 (フィルム番号)		
		所 見 (異常なし ・ 要管理)		
疾病及び健康に配慮を 要する事項				
上記のとおり相違ないことを証明する。 年 月 日 所在地 名 称 医 師 印				

第9号様式（特支高）

だい じ ぼしゅうにゅうがく し がんしょ 第2次募集入学志願書				受検番号		※	
志 望	第一志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	ふんきょうしつ コース・分教室	第二志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	ふんきょうしつ コース・分教室	
	第一※志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	ふんきょうしつ コース・分教室	第二※志望	おきなわけんりつ 沖縄県立	ふんきょうしつ コース・分教室	
志 願 者	ふりがな						
	氏 名						
	生年月日	平成	年	月	日	生	(歳)
	げんじゅうしょ 現住所	〒					
	しゅっしんがっこう 出身学校	ねん 年 がつ 月 そつぎょう 卒業・卒業見込み					
保 護 者	氏 名		しがんしゃ 志願者との続柄 ()				
	げんじゅうしょ 現住所		〒				
	でん 話 電 話		(じたく) (自宅) (けいたい) (携帯)				
いっぽんにゅうがく 一般入学		おきなわけんりつ 沖縄県立			いっぽんにゅうがく 一般入学		がっこう 学校
しがんさがっこう 志願先学校					じゅけんぽんごう 受検番号		
がくりょくけんさ 学力検査を受検した		ぜんにちせい 全日制・ ていじせい 定時制・ つうしんせい 通信制 () 部					
だいいちしほう 第一志望の課程及び学科		_____ 科 (コース)					
わたし きこうこうとうぶだい がくねん にゅうがく ほごしゃ れんめい うえしゅつがん 私 は、貴校 高等部 第一学 年 に 入 学 したいので、保護者と 連 名 の上 出 願 いたします。							
れいわ ねん がつ にち 令和 年 月 日							
おきなわけんりつ 沖縄県立		がっこうちょう どの 学 校 長 殿			しがんしゃ 志 願 者		
おきなわけんりつ ※ 沖縄県立		がっこうちょう どの 学 校 長 殿			ほごしゃ 保 護 者		

記入上の注意

- 1 受検番号は記入しない。
- 2 志願者が成年者のときは、保護者欄を保証人として読み替えて記入する。
- 3 卒業見込み欄については該当する文字を○で囲み、年齢は令和7年3月31日現在で記入する。
- 4 保護者の現住所が志願者のものと同じ場合には、「志願者に同じ」と略記する。
- 5 学力検査とは、沖縄県立高等学校入学者選抜学力検査又は、特支高等部入学者選抜学力検査をいう。
- 6 ※印欄は、志願変更する場合のみ記入する。

令和 年度
第 2 次 募 集 志 願 者 名 簿

沖縄県立 _____ 学校

_____ 科 _____ コース・分教室

_____ 学校 _____ 校 長 _____ 印

通し 番号	受検番号	ふりがな 氏 名	一般入学志願先 高等学校	2 次募集 併願先校	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

- 1 志望学科別、コース、分教室別にそれぞれ1部作成する。
- 2 受検番号欄は、記入しない。
- 3 過年度卒業者については、備考欄に「過」と記入すること。

第10号様式（特支高・乙）

沖縄県立_____学校

科 コース・分教室

[illegible]

- 1 志望学科別、コース、分教室別にそれぞれ1部作成する。
- 2 受検番号欄は、記入しない。
- 3 過年度卒業者については、備考欄に「過」と記入すること。

(枚中の)

第11号様式（特支高）

専 門 医 の 診 断 書			
現 住 所			
氏 名		年 月 日生	
病 名 ※障害名			
障 害 種 ※主障害を○で囲んでください。			
聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱 （ 視覚障害については別様式）
所 見 <u>（※障害の程度・検査名・検査結果等を必ずご記入下さい）</u>			
上記のとおり診断する。 令和 年 月 日 住 所 病 院 名 電 話 医師氏名 印			

※ 障害種別の専門医の診断によること。

※ 視覚障害については、沖縄盲学校専攻科と同書類、3号様式（特支専）を使用すること。

第2次募集志願変更願

志願先 沖縄県立_____学校長 殿

志望学科_____科 _____コース・分教室

受検番号_____

出身学校名_____

出身学校長_____印

志 願 者_____

保 護 者_____

私は、下記の学校へ志願変更をしたいので、入学志願書及び関係書類を返却していただきますようお願いします。

志願変更先学校	志望	学科
沖縄県立	第一	
		科 _____コース・分教室
学校	第二	
		科 _____コース・分教室

上記志願者の志願変更を許可します。

志願先 沖縄県立_____学校長 _____印

中学校受領者氏名_____

※ この志願変更願は志願先特別支援学校で保管し、その写しを変更先特別支援学校長へ提出する。

自己申告書

令和 年 月 日

沖縄県立_____学校長 殿

中学校名

本人氏名

保護者氏名

印

わたくしは、貴校への志願にあたり、次のとおり申告します。

本人記入欄

自己申告書を出す理由

- 1 欠席日数が多い
- 2 その他()

理由の説明、志願の動機、学校生活への抱負など

保護者記入欄

(支援学校に理解してほしいことがらなど)

この自己申告書は、必要事項を記入後、中学校へ提出すること。提出にあたっては、厳封してもよい。その際、封筒の表に、中学校名、本人氏名を記入すること。

第15号様式（特支高）

令和 年度 沖縄県立特別支援学校高等部入学者選抜 写真票 一般入学・2次募集用	
（写真貼り付け欄） ・旅券申請用判（縦4.5cm×横3.5cm 程度） ※カラー、白黒 どちらも可。 ・正面、上半身、無帽（出願前6ヶ月以内に撮影したもの） 志願者写真  ※この用紙に直接写真を貼り付けて提出してください。 （切り取らず、A4用紙のまま提出） ※写真の裏に氏名、生年月日を記入してください。 ※受検番号は記入しないでください。学校側が記入します。 ※本票は県立特別支援学校高等部入学者選抜に係ること以外には 使用しません。	
※一般入学受検番号 （初回）	
※一般入学受検番号 （志願変更）	
※2次募集受検番号 （初回）	
※2次募集受検番号 （志願変更）	
ふりがな 氏 名	
在籍（出身）中学校名 中学校	

本人の顔が明確
に判断できるよう
に、写真を撮って
ください。

学力検査等に際しての配慮願い書

令和 年 月 日

沖縄県立 _____ 学校長 殿

学 校 名

校長名

受検者氏名

保護者氏名

標記の件につきまして学力検査等の受験に当たって、配慮願い書を提出いたします。

記

- 1 配慮が必要な理由及びその状態について
- 2 学力検査等に当たって配慮してほしい措置
- 3 現在、学校生活において配慮している措置（中学校等の定期考査等で行っている配慮）

追検査受検希望届

令和 年 月 日

沖縄県立

校長 殿

受 検 番 号

志願者氏名（自署）

保護者等氏名（自署）

令和7年度県立学校入学者選抜における学力検査等（以下、「本検査」という。）を、下記の理由により受検することができません。追検査を受検したいので届け出ます。

記

- 1 追検査を希望する教科等（ただし、本検査で受検できなかった教科等に限る）。

国語 理科 英語 社会 数学 面接等

- 2 理由

- 3 添付書類

☐ 診断書 ☐ 入院証明書 ☐ 事故証明書 ☐ その他（ ）

上記の志願者について、保護者から申し出があり、相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

中 学 校 名

校 長

印

<記入上の注意>

- 1 追検査を希望する教科等については、該当するものを○で囲むこと。（面接等には、特別支援学校の教科である体育・技術（職業）を含む。）
- 2 理由欄には、本検査を受検できなかった理由を具体的に記入すること。
- 3 添付書類については、該当する書類の□にチェック（✓）を入れること。

別記様式（第4条関係）

学区外特別支援学校入学志願書

令和 年 月 日

沖縄県立

学校長 殿

(学校名)

ふりがな
(志願者氏名)

ふりがな
(保護者氏名)

印

(保護者現住所)

下記のとおり沖縄県立特別支援学校の通学区域に関する規則第4条第2項の規定により、保護者の移転先の住所の属する学区内に所在する特別支援学校へ入学を志願します。

記

志願先特別支援学校及び部・学科		沖縄県立	学校	部	科
保護者の住所 の移転に関する事項	移転先住所				
	移転予定年月日	年	月	日	
	移転の理由				

上記のとおり相違ないことを証明する。

令和 年 月 日

学校

所属長

印

添付書類

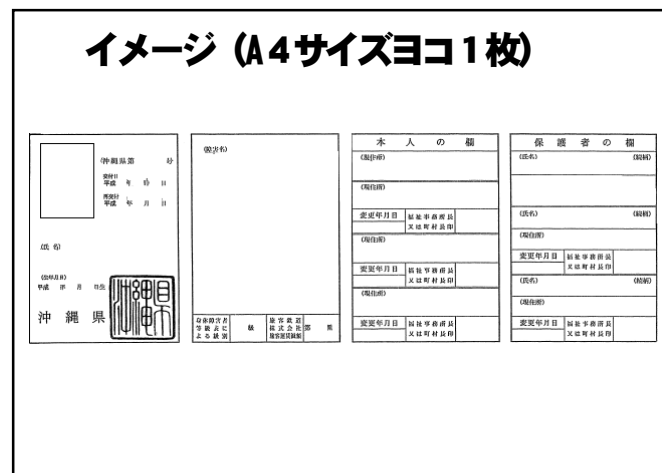
- 1 保護者の住所の移転を証する書類
- 2 その他 ()

身体障害者手帳・療育手帳等の写し 見本

所持する手帳は全て提出となります。1種類の手帳につき、A4コピー1枚を提出してください。

精神障害者保健福祉手帳についても、2面（顔写真の面・交付日の面）が入るようにコピーをお取りください。

身体障害者手帳 A4サイズ用紙に4面が入るようにコピーを取ること。



療育手帳 A4サイズ用紙に4面が入るようにコピーを取ること。

